

2022年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科											
演劇表現演習Ⅰ											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	安奈ゆかり			実務経験	有	職種	俳優・声優				
担当教員紹介											
劇団NLT 所属 日本工学院専門学校 演劇俳優科 卒業 主な出演作品に、舞台：『新・近松心中物語』『仮縫』『ミュージカル 三銃士』ドラマ：『相棒 1 6』『5→9～私に恋したお坊さん～』吹替：『砂上の法廷』（ロレッタ〈レネー・ゼルウィガー〉）CM：クレハ【NEWクレラップ】など。											
授業概要											
自分がより向上するためには何が必要なのか、自分を改めて見つめ直し、細かく苦手意識と弱点に向き合いつつポジティブに授業に取り組めるよう調和を重視しつつ授業をすすめる。											
到達目標											
緊張と自己意識から解放され、表現に対しての幅を広げ、イメージ力を強化し、作品に対して様々なアプローチが出来るようになること。											
授業方法											
基礎から脱し、発声、身体表現などの自分のくせなどにとらわれることなく瞬時に役をつかみ、状況や場面を作ることが出来るよう多種多様な課題に取り組む。											
成績評価方法											
平常点	50%	理由なき遅刻、欠席、授業態度、積極性によって評価する									
課題点	50%	提出物、授業内に行われる課題、実技への取り組み、内容について評価する									
履修上の注意											
この授業では学生間、講師と学生とのコミュニケーションを重視する。様々な考え方、表現を学びつつ、礼儀、挨拶、相手に対するの敬意を払うこと重視する。理由なき遅刻、欠席は認めない。											
教科書教材											
必要に応じ、授業内に台本、映像資料を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	自己紹介①自分を知る。相手を知る。										
第2回	自己紹介②相手に印象づける事を考えてみる。										
第3回	シアターゲーム①相手に意識を届ける。意思を飛ばす。コミュニケーション。										
第4回	シアターゲーム②空間、人、物に対してのアプローチ。思考トレーニング。										
第5回	インプロ①与えられた情報を形にする。										

2022年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
演劇表現演習 I	
第6回	インプロ②シーンを作る。空間を作る。
第7回	インプロ③役作りとは。
第8回	インプロ④人間観察からの表現。
第9回	インプロ⑤課題の設定と人物の融合。
第10回	インプロまとめ。設定、役を考えつつシーンを作り、それらを合わせる。台本投影。
第11回	台本読解①インスピレーションを投影しつつ、必要な情報の組み立て。
第12回	台本読解②情景からのイメージ表現。
第13回	台本読解③登場人物からのイメージ表現。
第14回	前期まとめ①舞台と映像の違い。
第15回	前期まとめ②表現方法の違い。